



# 第三中学校だより

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校  
Tel 048-461-3306  
相談室 TEL 461-6698

〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1  
ホムペ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

令和6年3月1日発行

校訓

- 健康な体
- 豊かな心
- たゆまぬ学習

## 「自己を受容すること」とは

校長 近藤 克代



本校には、運動場の周辺を桜の木(ソメイヨシノ)が囲っています。今年の桜の開花予想は、暖冬傾向により例年より早く3月18日(東京:2月28日予想)と報道がありました。本校の桜も日に日につぼみが膨らみ、花が咲く準備段階に入ってきたところです。ほぼ、毎朝、校門に立ち桜の木を見上げては、今年も美しい花が咲くことを楽しみに思い、正面を向いては、元気な挨拶をして登校する生徒の様子から、心身共に大きく成長した姿を見て、うれしく思う今日この頃です。先日、保護者の皆さんへ学校評価に係る保護者アンケートを配信しました。その質問項目の内、「学校の雰囲気がよく、さわやかな挨拶等を含め、子どもたちは生き生きとしている」の結果ですが、多くの方が肯定的な回答であり、一方「学力向上に努め、授業改善とともに、子どもの能力や努力を適切に評価している」では学校の課題が把握できる結果をいただきました。(詳細はHPをご覧ください)生徒の生き生きとした生活の中心には学習があり、生徒自身が学習活動の中で、『挑戦行動』(困難な課題にもやってみようとする行動)を身に付けさせ、『有能感』(学習行動がうまくいったとき、成功した時に感じることが多い感情。)を高めさせていくための授業改善を今後も一層、進めてまいります。

話が変わりますが、最近では高校バレーボールを題材にした漫画が今、注目となっているようです。話題となる要素は多々あるのかもしれませんが、読者の胸を打つセリフが要所に込められているのもその理由の一つだそうです。例えば、高身長が有利とされるバレーボールなのに、身長が決して高くはない登場人物が、「…確かに俺はデカくないけど…でも！俺は、とべる！」と何度も言う言葉です。そして、このセリフは、アドラーというオーストリアの心理学者が説いた、人間が発展するための理論の一つにも当てはまるそうです。その理論とは、「自己受容」で、人は自分ができない・わからない点を最初にクローズアップしてしまいがちですが、自分が持っている能力に気づき、どれだけ多く見つけ出し、自分の存在そのものを受容することから始まることで、結果的に、必ず誰かの役に立っている(「他者への貢献」という考えです。ゆえに、役に立たないと思っているという事は、もしかしたら自分を理解しようとしていないだけかもしれません。さらに、「他者への貢献」には、他者への信頼が土台にあると説いています。という事は、先に紹介した漫画の登場人物のセリフには、自分の弱みと強みに気づき、仲間もそれを認め、その結果、チームの勝利のために選手としてプレーをしていると解説ができます。

今年度の学校教育目標は「気づき・考え・挑戦する ～新時代を生きる力を創造する～」です。生徒が“生き生きとした生活・”を育むために、この学校教育目標を軸に様々な教育活動を行ってまいりました。私は、生徒には特に「気づき」(気づく力 気づける環境など)を大切にしてほしいと願い、目標の最初の言葉に掲げました。学習においても、人との関係性においても、そして自分自身のことについても、最初は気づくことから始まるのです。その気づきを無駄にしないよう、何をすべきか考えて、やってみて、また新しい何かが気づくのです。満開の桜が過ぎ、新葉の若葉色になる頃には、入学や進級の時期です。自分の強みを見つけて出し、新しい環境への貢献ができるよう心から願い、学年末の締めくくりをしています。

最後に、令和5年度の本校の学校教育にご理解とご協力を心から感謝申し上げます。